

みちの会だより

第19号
1998年12月7日発行
地域開発みちの会

第12回 知多・名古屋女性フォーラム

男女共同参画をめざす“みち”パートⅡ

9月25日 南知多町総合体育館 サブアリーナで行われました。

シンポジウム

794人からアンケート調査

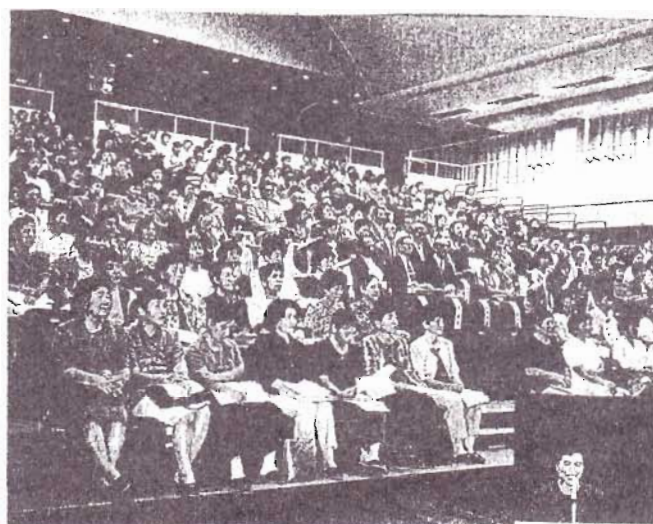
- ・暮らしの中の
平等意識
- ・女性に対する
暴力への対応

アンケートを元にした寸劇

「日曜日・午後の異変」

「援助交際」

アンケート結果報告を致しました。



映画

「今、女たちは変わろうとしている」を鑑賞しました。



ごぶさたしています。

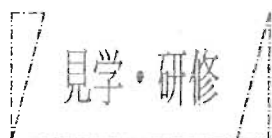
今回は、会合になかなか出席できない方々からお便り、コメントを頂きました。

特集として掲載いたしました。

それぞれお忙しく活躍されています。

ぜひお声をかけて、旧交をお確かめいただきたいと思います。

順は不同です。



講演 テーマ
講師

「両性の平等を考える」

名古屋大学教授 森 英樹氏

10月22日 あいち健康プラザにおいて、午前中講演を聞き、活発な質疑応答をしました。午後、全体会（フォーラムの反省）と健康科学館の見学を行いました。



感想

「つれあい」

山守 恵子

今まで便利に言い馴れた“主人”“奥さん”という言葉、口に出すのがためらわれてきた講師は「今のところは『私のつれあい』そして『あなたのおつれあいさん』と呼ぶことにしています」と笑顔で答えられた。

いいことを聞いた。つれあいっていい感じ。

そうなんだ。

皆、つれあいでいいんだ。

夫と妻はもちろん父母そして子どもも、人生のつれあいなんだ。

向井さんではないが、何光年という気の遠くなるような宇宙からみれば、ほんの一瞬の星のまたたき程の時の流れを、縁あって共有することになったもの同志、共に輝ければ最高！

そこでは家とか、姓名とかは、整理番号位のものではないかと、思いは一気にふくらむ。

つい最近、親しい夫妻に80有余年の人生最大の危機が訪れた。

妻が倒れた。

つれそって60年余、始めてつれあいと離れ、夫は傍の者が励ましようのないほどショックを受けた。

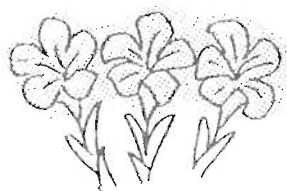
それから1ヵ月余、毎日病人の元に通り、眠ったままの姿に深い嘆息をつく。

それでも倒れて間もなく一瞬意識が戻った時、

「ここはどこ」といい、

娘が「私、わかる」とのぞきこむと

「わかるよ、私の大事な大事なお嬢さまの〇〇さまだよ」と一言一言大切そうに言ってニッコリした60才をこえた娘は、母の力強さにびっくりしたそうだ。



もちろん、夫に対しては口には出さず「私の大事な夫」といつていただろうと思う。

母の子への思い、又、つれあいってすごいと思う。

ところでどこからか雑音が聞こえてくる“50年の不作”って……。
つれあいって難しい。

そこで一句「宙返り何度でもできる無重力転びっ 起きっ八十年」



あいち男女共同参画推進市町村サミット

基調講演 早稲田大学教授 岡澤憲美氏
(10月28日ウィルあいちにて)

水上 規子

2050年には、高齢化率が33%（予想）になる。男女が信頼と連帯をもって（スウェーデンのように）高齢化の手当をしていかないと手遅れになってしまう。女性の柔軟な智慧の結集は、社会を変えていく最大のパワーとなる。

女性よ頑張れ！！

サミットは県内の4市長、1町長、1助役（女性）で、各市町の女性プランの進展状況を話された。

岡澤教授はバブルがはじけた今、「首長の『智慧と力』を発揮できる時、一歩踏み出すかどうかで変わってくる」とまとめられたのは、パネリストたちが、女性の底力を心から信じていない（口先では上手に言っている）胸の中を読み取られたか？



愛知県女性地域実践活動交流協議会

男女共同参画地域実践フォーラム
(11月22日ウィルあいち)

永山 峰子

「見なおしたいね、女と男の今を！」のテーマのもと、県内の7団体と一般参加を含む120名が参加した。

戒能民江さん（東邦学園短大教授）の講演の後、グループトークの時間を持った。みちの会の参加者12名も暮らしの中の参画意識について、熱弁をふるった。

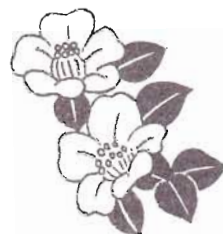
グループの発表を受けて、戒能さんから「自己を改革し、社会を変えていく力を身につけること。女性がリーダーシップをとれる社会をめざして、みんなで歩んで行きましょう」とエールを送られた。



暮らしの中から変えよう！ **女性の自立** ～責任も半分 役割も半分～



11月28日(土) 大府市勤労文化会館にて
午前中は4団体の活動発表がありました。
午後1時より、ノンフィクション作家である
門野晴子氏の講演が約1時間半ありました。
昼休みには、ケーキ、ハーブティー、五兵もち
のサービスと野菜の即売が行われました。



感想

野田 うめ子

美しい音色のオカリナ演奏でオープニングした「男女共同参画推進地域フォーラム」に出席し、“今日は充実した一日になりそう！！”と感じた。

活動発表に観るエネルギッシュな和太鼓演奏。

そして、我が町美浜女性の会の代表者 石田さんの地域ボランティア活動を通して出合った多くの方々から教えられた貴重な体験談の数々……など。

又、「天うらら」の原作者 門野晴子氏の講演は、自立して生きることの困難さや苦勞を体験した中で、たくましく、エンパワーメントな生きざまを、情熱的に講演して下さいました。

「自分らしく輝いて生きるのは、老いの入口に立ってから！！それまでに沢山の知識や経験をしこんでおいて！！」

その年代に近づきつつある我が年齢を再認識し、一日一日を悔いなき日々で暮らしたいと願っています。

インタビュー



知多女性たちの会より参加した方にインタビューしたものです。

日本女性会議 '98 あまがさき

1998年10月22日～23日の両日兵庫県尼崎市で行われました。

基調講演は弁護士の中野麻美氏。

講師は日本労働弁護団常任幹事であるので、身近な例として、100円ショップをとりあげ、その商品が店頭になぶるまで、それにかかわる人々の賃金、労働条件、賃金搾取などがあるという100円商品の背景を知り、人権の大切さをくり返し訴えられた。

今回のテーマは、『個』と『個』がお互いの人権を尊重し、やすらぎのパートナーとして支え合っていくのを見つめなおす時ではないでしょうか。

毎年全国持ち回りで、この日本女性会議は開催されています。

来年また参加しましょう！



ごぶさたしています。



若原 貞子

みちの会員の皆様

日頃は活動に参加出来なくて申しわけございません。
皆様の若い活力と努力を、報告書を読ませていただき

ながら感じております。

さて私事ですが、主人亡きあと三年、商いを続けておりますので、ウィークデイは出ることが出来ません。最近の活動を報告させていただきます。

中区の真ん中に若宮神社があります。その神社の片隅に325年前に作られた山車福祿寿車が保管されております。

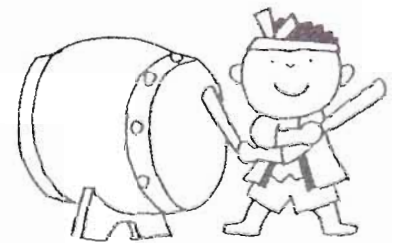
半田の祭には沢山の山車が勢揃いして有名ですが、この山車も例大祭の時には那古野神社まで総勢300人位の人が行列に参加します。

又、名古屋祭には市内9台の山車が、英傑行列の先頭に繰り出します。

永年女人禁制だった山車に、5年程前からお囃子のメンバーとして参加出来る様になり、男女20名程で楽しんでおります。

伝統、しきたりはなかなか変えることが出来ませんが、参加出来ることに責任と幸せを感じております。

男勢意識の強い中、女性の実力を少しづつ育むことの大切さを実感しております。



！ ！ ！ ！ ！ ！ ！ ！ ！ ！ ！ ！ ！ ！ ！

梶川 美代子

みちの会の皆様こんにちは、お元気ですか。

いつも欠席しており申し訳ありません。私事ですが平成八年より県婦人教育指導員をやらせて戴いております。特に知多郡の婦人会活動に力を注ぎがんばっています。これからも皆様にはご迷惑をおかけしますがよろしくお願い致します。

地区婦人会に時々原稿依頼をされます。その一部です。

私の町の婦人会

日本全国各地に数多くの婦人会があります。そして、各地でそれぞれの活動が繰り広げられています。その内容は様々ですが、同じ目的に向かい大勢の仲間ががんばっています。

しかし、世の中も様変わりし、どの地区でも発足当時の運営は難しくなりました。少子、高齢化、情報化が進み、地域社会の抱える問題も複雑多様化してきました。又、ボーダレス社会になり、その影響が他人事では済まされなくなりました。私達の住む小さな町でも深夜型のコンビニ店が進出し、一日のリズムが狂ったりもしています。又、犯罪面でも老若男女が事件を起こし、今まで予想しなかった事が次々に起こっています。せめて自分達住む町は自分達で守っていきたいものです。

今、私の住む町での生活課題はなんだろう…。 “豊かで住み良い町づくり” にするには何が
必要なのだろう…。

地域を守っている女性が、婦人会の組織を活用し、能力を発揮するときです。身近な問題をみんなが考え話し合う。仲間を作り、学習しながら地域に貢献する。ひとりひとりの力を結集させ「私の町の婦人会」を活性化して下さい。

9月25日台風一過の翌日、海拔1400メートルの高所にある岐阜県にござ温泉に向かった。

途中長野県日和田高原においてベニテングダケを初めて見る事が出来ました。姫路からきのこ研究会のバスツアーの人々が、木曾御嶽を中心に探索しているのに偶然出会ったからです。そして、ベニテングダケは白樺の根元に自生する事を教えてもらいました。キノコをひざまずいて接写している人、スケッチする人、地面すれすれに眺めている人、ビデオに撮っている人皆それぞれです。

鮮やかな紅色のトンガリ帽子に白のつぶつぶ……魔法使いの絵本に出てくるような光景です。今まで白樺の木と言えば、白い幹、さわやかな緑の葉、黄葉した美しい葉などをイメージしていましたが、今日はその根元をみつめる事を知りました。

それから探す事5～6分、あった、あった、かわいいつぼみ、やゝ開いたもの、すっかり成熟したもの3本もみつけました。きれいな色には毒があるとこれは毒キノコです。その気になって30分、10種類以上のキノコを見つけました。

残念ながら名前は全然わかりませんが、とても珍しい黄色い柱状のものもありました。

ツアーの人達は、きのう今日で120種類程観察したと言われました。

ベニテングダケは当地のみに自生するそうです。

だから姫路からわざわざ来られたのです。

台風7号で多くの木が倒れ、被害も大きかったのですが、キノコにとっては恵みの雨のようでした。

夜は温泉でゆったりくつろぎリラックス、そんな私達に、夕食後の9時頃、タヌキとキツネの歓迎のご挨拶を受け、楽しい楽しい旅となりました。



奥田 和子 身体の調子がわるく入退院をくり返しています。福祉の方も担当していますが、代わってもらったり名前だけの状態です

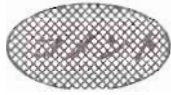
鶴田 静枝 毎日仕事をし頑張っています。

武井田鶴子 毎日忙しくて退会したいと思っています。

原田千賀子 欠席ばかりでお許し下さい。
去る10月4日にやっと姑の仲間入りをしました。若い二人にどう接すればよいか戸惑う日々であります。冬期季節業を営んでおりますので今後も参加出来ません。お詫びします。



安達 栄子 コメントはパスさせて下さい。

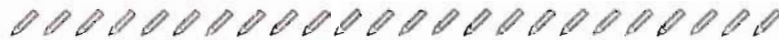


伊藤 みよ 地域ボランティアをされていて忙しくてみちの会になかなか出席できません。

藤井 廣子 御無沙汰してて申し訳ありません。忙しいのでみちの会、今しばらく休ませて下さい。



久保奈緒子 11月7日千葉市へ転勤で引っ越しします。みちの会で学んだことが生かせるように機会があれば頑張りたいと思っています。



田端 美知子

みちの会の皆様たいへん御無沙汰しております。毎回のみちの会だよりや活動報告を拝見し熱心な活動ぶりに嬉しく思っております。欠席ばかりの私にこのように原稿を書く機会を与えて下さったことに感謝し、大府の女性施策の一部を紹介して私の近況報告します。

1975年、国際婦人年から始まり、1995年の北京世界女性会議とこの20年の間に女性をめぐる世の中の状況は著しく変化しております。大府市も1988年に婦人係の設置、その後、市長部局に女性室を誕生させ、女性に係わる事業をますます充実・推進してきました。その一つとして、石ヶ瀬会館を女性の拠点とし、女性情報コーナーや相談、講座等の事業を行ってきました。私も婦人係の設置時のパート職から会館への常勤の嘱託職に変わり、このように女性を取り巻く社会状況は私の周りでも刻々と変化しています。

しかし、半世紀ほど前、女性たちは男女平等という理念を手に入れましたが、21世紀を迎えようとしている今日でもまだまだ男女平等が現実のものになっていないといえませんが。

それは社会の経済や政治の場から女性が構造的に排除されているという現実があり、政治に参加する女性議員の割合、男女の賃金格差、審議会・委員会に占める女性の割合など、いずれにしても男性社会の壁はまだまだ厚く、こうした現在の女性排除の社会的構造を考えると、女性がもっと学習し、意識を向上させる必要があると思います。

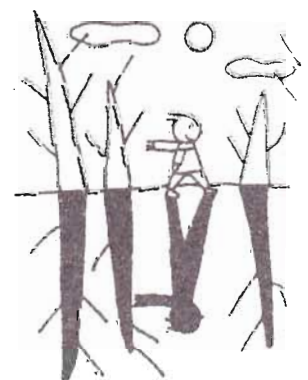
石ヶ瀬会館ではすべての女性を対象にして学習講座を企画し、女性がエンパワーメントする場の提供をしています。もちろん男性の意識改革のための講座もあります。女性会館としての機能はまだまだ充分とはいえませんが、大府に住む女性たちが会館を拠点に学習をして、力をつけ、あらゆる分野で自分たちの意見を述べ「女も、男も、仕事も、家庭も平等に」を基本として、それぞれ自立した人間社会を作ってほしいと願っています。

最後に、私にとってみちの会はいろいろな人との出会いと、人間形成にあたっての最高の場であると思っています。女性たちのネットワークでそれぞれの地域の情報が入り、それを自分の地域に持ちかえり取り込む姿勢は、内容に幅ができてよいのではないのでしょうか。

大府において、私の果たす役割はまだまだたくさんあり、いままで学んだことを土台に一步一步確実に進めていければと思っています。

それから、大府では夫の転勤で会員が半分になり、今後の存続問題もでてきており、皆様のお力を借りて考えていければ幸いです。

それではこれからますますみちの会が発展しますようお祈りします。



心の宝石 つなぎ合い

伊藤 節子



地域開発みちの会のみな様へ

福田先生はじめ会員のみな様御無沙汰致しております。その節はみな様から温かいお心遣いを頂き、この紙面をかりまして厚く御礼申し上げます。

この2～3年主人の病との戦い、手術に対する覚悟、又看護（自宅、病院）、そして永遠の別れ……と厳しい日々の連続でした。

当時は途方にくれる程の強烈なショック、大きな大きな心の空洞も仲々癒されることなく、無我夢中で、前向きに！とただ自分にいい聞かせる日々でした。

お陰様で今では何とか三人の子供、嫁、婿、可愛い盛りの孫二人に支えられ、自分自身に打ち克つ毎日です。

- ・周りの人々のお陰で到れり尽くせりに充分見てあげられたことの満足感
- ・喜んでくれるであろうことを即実行する。そして
- ・自分が元気にしていることこそ何よりの供養である。…と自分なりに考え、頑張っています。

思えば、みちの会で「医療を学ぶ」「老後・介護の問題」「夫婦別姓について」などなどずい分多くのことを勉強させて頂きましたが、その時は所詮人ごとであり地に足がついていなかったような気が致します。

「健康だったから“健康”を忘れていた」

「歩いている時は“足”を意識しない」

「電気が切れてわかる明かりの有難さ」

そんな思いを致しております。

今になって、始めて同じ境遇の方の気持ちが本当によくわかります。そして“伊藤要の妻”の部分を取り除かれ、私一人として生きて行かねばならない心細さ……

そんな思いの昨今ふと目に留まったのが、穏やかな秋の日差しの中で宝石のように輝く一房のぶどうの絵に添えられた一言『心の宝石・つなぎ合い』でした。家族の絆、周りの人々の支え、友人からの言葉、皿、手紙などの温かさ……などなど身に染みて感じています。

みちの会での勉強がすべて自分のための“テーマ”であるかの如く感じ、心の大きな空洞を少しでも小さくし、そして広く、永く、強く成長してゆかなければならないと痛切に思うこの頃です。

どうか、どうかこれからこそ本当によろしくお導き下さいますよう心よりお願い申し上げます。

最後になりましたが長期にわたり欠席致しているにもかかわらずみちの会から根気よく、資料送付、連絡、おさそいなど頂き申し訳なく思い、感謝の気持ちでいっぱいです。

このように書く気持ちになれたことこそみちの会のお陰とありがたく思っています。

お詫びの気持ちまでに……と思いつくまま書かせて頂きました。乱文おゆるし下さい。

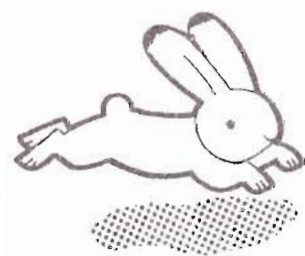
みな様くれぐれもお体を大切にしてくださいませ。みちの会の発展をいのりつゝ……

欠席ばかりで申しわけありません。
常に資料を読ませていただきまして、皆様のご活躍のすばらしさ勉強させていただいております。

私も名古屋市婦人団体で学習はしております。区の会長をしておりますので、区婦人会における企画またあらゆる運営審議会に参画して女性の視点において発言・行動しており女性のエンパワーメントに努力し、学習をいたしております。

地域においてもジェンダーフリーをテーマに婦人会で学習会を開き、今年度は21世紀にむけて、「高齢者と女性問題」などテーマに。少々体調をくづしましたので気をつけながら毎日を送っています。

会の日時の時に婦人会行事と重なり残念に存じます。



鈴木 多恵子

国の男女共同参画審議会（会長 岩男寿美子慶大教授）は、11月14日「男女共同参画基本法」について小渕首相に答申を提出した。政府はこの答申をうけ法案を作成し、来年の通常国会に提出の予定である。この答申には国、地方公共団体、国民の責務や法制上又は財政上の措置やオンブズパーソンによる苦情処理についても盛り込まれている。

さて、名古屋市の第8期男女共同参画懇話会では、この9月「男女共同参画プランなごや」後期に取り組むべき重点課題について提言を行った。懇話会委員は15名（男性5名、女性10名）で第1部会（教育、人権、国際化）第2部会（社会参加、労働）第3部会（地域福祉、健康）からなり、私は第1部会に所属した。

後期取り組みの重点課題検討にあたっては①女性の人権尊重の視点②ジェンダーに敏感な視点③女性のエンパワーメントの視点④市民参画社会の視点を柱とした。

女性に対するあらゆる暴力、学校、社会、メディアにおけるジェンダーフリー、政策、方針決定への女性の登用、労働における男女平等、福祉の充実と健康づくりetc.について、早急に取り組むべき重点課題と取り組みを検討すべき課題をについて各々提言している。

例えば、女性に対する暴力の実態調査や被害者支援のための行政、医療、福祉、教育等のネットワークの構築、女性登用を促進するシステムの導入、セクシャルハラスメントの防止のための相談窓口のPRや防止策の拡充、女性起業家支援、男性の家事・育児・介護への参画促進等A4判33頁に及ぶ。



少子高齢社会に直面して、いずれ労働力不足が目に見えてきた今、片方の性に、家事、育児介護、賃金、昇進など差別的な状況が継続するようでは、真のパートナーシップは望めない。「男女共同参画社会」がたてまえでなく、本音の「実」を確かなものにするために、私たちは学習し、行動を積み重ねていくことが大切であると痛感している。



【あとかき】

やっと19号をお届けすることが出来ました。

“第12回知多・名古屋女性フォーラム”

“見学研修会と講演”の行事を終了しました。

皆さんおつかれさまでした。

今回は感想文のみ掲載しました。

詳しい内容は、実績書にてまとめてお届けします。

又、「ごぶさたしています」特集では、お忙しい方々が、本当に快く原稿をお送りくださいました。心より感謝しています。

今後の予定

新年会1999年1月18日(月)に予定しています。ぜひご参加ください。

担当 Cグループ